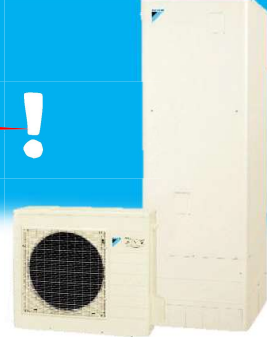


配管の凍結にご注意ください！

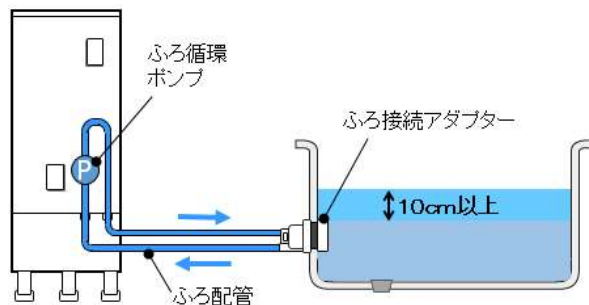


屋外温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管の破損や水漏れ事故の原因となります。屋外温度が低くなり凍結の恐れがある場合は、以下の予防対策を行ってください。

ふろ配管の凍結防止 **お風呂の水をはったままにする**

お風呂の水を、ふろアダプターの10cm上まではった状態にしてください。

気温が低いときは、ふろ配管の凍結を防止するために自動で貯湯タンク内のポンプを動かして、お風呂の水を循環させます。



【ご注意】

エコキュートの専用ブレーカーや貯湯タンクの漏電遮断器は切らないでください。凍結防止運転ができなくなります。

給水・給湯配管の凍結防止 **じゃ口から少量の水を流しつづける**

1) 台所リモコンの[▼]ボタンを押し、給湯温度を「水」に変更してください。

※[水]の設定がない場合は、最後にお湯を使用してから1時間以上お待ちください。

※浴室リモコンで給湯温度を変更する時は、「優先」ボタンを押して、浴室優先に切り替えてください。

※お風呂の蛇口が無い場合は、他の給湯栓でも構いません。



V型(2020年度製)台所リモコンの場合



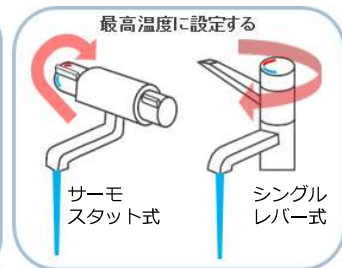
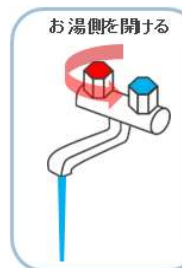
※旧モデルをご使用の場合は、取扱説明書をご確認ください。

2) お風呂に水をはった状態で、お風呂のお湯側のじゃ口を開け、少量の水(1分間に200cc程度)を浴槽へ流したままにしておいてください。

※入浴後、就寝される前などに行ってください。

- ①サーモスタート式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、最高温度に設定をする。
- ②お風呂の蛇口を開け、少量の水が出るようにする。
- ③出ているのが水であることを確認する。

(リモコンに給湯マークが表示されていないこと)



【翌朝の確認および注意事項】

- ・お風呂の給湯栓を閉めてください。(浴槽から水があふれていることがあります)
- ・台所や洗面所などの蛇口からお湯が出るか確認してください。
- ・サーモスタート式やシングルレバー式の混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意願います。

配管が凍結したときの対応

配管が凍結していると考えられる場合は、**日中に気温が上がり自然に解けるのをお待ちください。**お湯をかけると配管に亀裂がはいたり給水栓が破損するおそれがあるのでおやめください。
・凍結が原因でリモコンにエラーコードが出ることがありますので、エラーのリセットをお試しください。再度エラーコードが表示される場合は、氷が解けてお湯が蛇口から出るようになってからリセットしてください。

WEBサイト
凍結したときの対応と
予防方法(エラーコード)

動画
リモコン取扱説明
【こんなときは(凍結防止処置など)】

お昼頃になってもお湯が出なかったり、リモコンのエラー表記が続く場合などは**ダイキンコンタクトセンター**までご連絡ください。

ダイキン工業株式会社
ダイキン
コンタクトセンター
お客様総合窓口

24時間365日対応
0120-88-1081